

澤野大樹 仙台セミナー第十六章 「インフルエンスする世界」

～ As Above, So Below～～上の如く、下も然り～

【講演へのメッセージ】 澤野 大樹

さてあなたも誰でも自身の生い立ち、歴史というものを持っている。それは一人ひとり、かけがえのない唯一無二のものだ。自身の生い立ち、歴史についてもっとも知り得るのは、世界中を探しても自身以外には存在し得ないはずだ。あなたはいつ、誰の下に、どこで生まれ、どこで育ち、何を感じ、何を語り、誰と知り合い、何を思ったかについて、どこの誰よりも振り返ることができるし、語るることができるはずだ。しかしある時、あなたのそんな生い立ち、歴史について、まったく与り知らぬ者が、したり顔で語り始めたらどう思うだろうか？しかも、その内容がまったくのデタラメで虚構に塗れていたとしたらどうか？見知らぬ誰かがあなたの生い立ち、歴史について、ウソの生い立ち、歴史を吹聴したらどうなるだろうか？生まれてもない場所を生誕地とされ、聞いたこともない人物を親とされ、通ってもいない学校を卒業したとされ、知らない人と結婚したとされ、持ってもいない資格を持っているとされたとしたら。しかし次第に、その虚構は繰り返される中で事実へと変化していく。自身ではわかっている、周囲はその虚構を信じていく――。

—これとまったく同じことが今、「日本」という国においてなされている。生い立ち、歴史について、厳然たる「事実」が捻じ曲げられ、それこそが「事実」として伝播されている。たった「ひとつ」のウソがすべてを崩壊させる。どこかひとつでも虚構が混じればすべてのタガが外れる。たったひとつのウソによって、すべての辻褄が合わなくなる。「虚構」「ウソ」を基盤とした人生は、隠蔽と誤魔化しに明け暮れることとなる。そんな「虚構」「ウソ」を糾すことなく、どれだけ精神修養を積もうが、引き寄せの法則を駆使しようが、右脳を開発しようが、基盤が虚構、ウソであるならば、そこから派生するあらゆる現実、すべて虚構に根ざしたニセモノに過ぎない。それは「日本」という国そのものにもまったく同様に当てはまること。正確で精緻な歴史理解はいわば三次元現実世界の基礎部分である。この三次元現実世界の「基礎部分」は「ひとり」と換言される。そして、その基礎から派生するめくるめく無限の想像世界が多次元世界である。この多次元世界の「派生部分」は「ひとつ」と換言される。「ひとり」と「ひとつ」、そして「上」と「下」、「左脳」と「右脳」は相互補完で均衡する。大いなる精神世界、巨大なイマジネーション世界、無限にクリエイトされる世界とは、微に入り細を穿つ精緻極まる自己基礎部分の確立に呼応する。自己基礎部分の確立は「日本」という国の軸を糾すこととフラクタルに呼応する。5月20日(日)の仙台天命塾講演会では、これら空前絶後の内容を、最新時事解説を交えながら、多角的に俯瞰的に、そして、まさにリベラル・アーツの嵐の如く、みなさまの前に提示させていただきます。おったのしみに～！

澤野大樹(さわの・たいじゅ)さんのご紹介 1971年東京生まれ INTUITION <http://www.intuition.jp/>
 日本大学芸術学部映画学科卒業。たま出版、たまメンタルビジネス研究所にて、日本のスピリチュアル界の草分け的存在であった瓜谷侑広氏の下で研鑽を積む。独立し、1997年より独自の哲学的視点を綴った『情報誌 INTUITION』の発行が始まる。以来、17年間経った今でもその執筆は続いている。この『情報誌INTUITION』の執筆が、私の活動の基礎中の基礎であり、ここから様々な企画などに派生していくことになる。たま出版時代から、成功法則、思考現実化法、サブミナル、マインドコントロール、玄米菜食、魔術、超能力開発、ヒーリング、占い、瞑想、自己催眠術、パワースポット、秘密結社、陰謀論など、ありとあらゆることを体験し、そのことを踏まえた上で書かれる『情報誌INTUITION』は、客観的で多次元的という非常に稀有な形態を持っている。執筆している本人に、「これから何を書くのか？」ということに対する明確な意識は存在せず、執筆しながら本人が一番驚き、感動し、喜ぶというこれまた稀有な創作過程となっている。それゆえに、完成された情報誌は、もはや「この世のものではない」と言われている。通常想定される「情報誌」というものとはまったく違い、筆者は、この情報誌の執筆を、ひとつのストーリーを紡ぎ描く手段であると捉えている節がある。いきなり出会っての初見では何が書いてあるのかわからない。しかし、じっくり何度も読んでいくうちに、後になってからジワジワと効いてくるという、不思議な感覚を呼び覚ます珍しい情報誌となっている。そんな筆者だが、たまに勉強会や講演会なども行っている。講演は、すべての文言が一字一句逃さずに、講演直前に活字化され、講演原稿として用意される。講演と同時に100%完璧な活字版も完成しているところが大きな特徴である。これまでの講演会は、すべて100%活字で保存されている。また、このインターネット全盛期の現代において、『情報誌INTUITION』は、A4用紙による紙媒体による発行だ。なぜならば、現代においても、国家間の取り決めや条約の調印式は必ず紙の書面に万年筆であるように、歴史に残るものを創造する場合は、紙に記す必要があると考えているからだ。紙ならば1000年経っても残るからだ。『情報誌 INTUITION』をぜひご購入ください。 著書「瀬織津姫システムと知的存在MANAKAが近現代史と多次元世界のタブーを明かす」文芸社

- ・日 時: 2018年5月20日(日) 15時半～18時頃(開場 15時)
- ・会 場: あわの里 天命舎 仙台市青葉区国分町3-9-32 仙台 ATOWAビル 5階 022-399-7674
- ・参加費: 5000円(仙台テンメイ会員以外&当日参加 5500円)参加費は当日支払下さい。 定員 : 25名
- ・懇親会: 講演会終了後、澤野さんを囲んで懇親会を開催します。参加希望の方は申込下さい。
- ・申込み: 参加申込書に記入し、FAX、電話、Emailで申込み下さい。 仙台天命塾 HP <http://genkiup.net/>
- ・問合せ: 仙台天命塾 大久保 TEL/FAX 022-279-1024 090-8786-7300 E-mail atowa999@gmail.com

仙台天命塾 第312回オープンセミナー 参加申込書
 FAX 022-279-1024

講師 澤野 大樹さん
 2018年5月20日(日)

氏 名		会 員	TEL	
E-mail			FAX	
住 所	〒			懇親会参加